

朝日を浴びたイチヨウやかエデの鮮やかさが日常に彩を添えてくれます。各地域では、社会教育・生涯学習関係者の皆様のご尽力で、地域文化祭等が盛大に開催されています。地域文化祭は、子どもも大人も生きがいや感動を得るだけでなく、地域がつながる貴重な機会です。きっと、参加者の笑顔を通して、地域の可能性を感じられたのではないのでしょうか。

さて、関市では、平成 26 年に関市自治基本条例が施行され、平成 29 年度現在 14 の地域委員会が発足し、市民が主役となった地域づくり行われています。今回は、その中の一つ「田原みらいづくり協議会」を紹介します。地域の明るい未来を感じさせる素敵なネーミングですね。

自治基本条例は、「まちづくりのルール」(「関市自治基本条例パンフレット」より)

地方分権の推進、少子高齢化・人口減少社会の到来、市民のニーズや価値観の多様化など様々な課題に対応していくためには、みんな(市民・議会・行政)がそれぞれの役割や責任を果たし、連携・協力しながらまちづくりを進めていくことが必要です。「自治基本条例」は、まちづくり(自治)の基本的な考え方やルール、市民・議会・行政などの役割や責務、市民参画や協働の仕組みなどをまとめたもので、これからのまちづくりを進める上でとても大切な条例です。

今回のトピック

未来へつなげ 輝くまち田原
田原みらいづくり協議会

田原地域に暮らす人々が、お互いに助け合い、知恵を出し合って地域の特色を生かした魅力ある地域づくりのための活動を行うとともに、住民および団体相互の交流及び連携を推進し、安心して生活できる住みよい田原地域をつくることを目指しています。

<組織図>

総 会：本協議会の最高決定機関(役員、監事、活動部会員)

役 員 会(代表、副代表・活動部会長、事務局)

活動部会

- 総務・広報部会 ⇒ 広報誌「みらい」発行 わいわい会議の開催 女性主体の講座開催 等
- 教育・交流部会 ⇒ チャレンジ七夕祭りの開催と充実 田原歴史講座・教育講演会の開催 等
- 福祉部会 ⇒ ⇒ 高齢者の居場所づくり 子育て支援(サロン開催 1 回/月) 等
- 健康・スポーツ部会 ⇒ ふれあいグラウンドゴルフ大会の開催 ウォーキング大会の開催 等
- 安全・安心部会 ⇒ 防災・減災活動 防災農園 子ども見守りボランティアの支援 等
- 生活環境部会 ⇒ 田原の自然に親しむ 田原自然スポット写真コンテストの開催 等

田原みらいづくり協議会代表 佐藤 正和 さんの想い

関市自治基本条例に基づく、田原みらいづくり協議会4年目となりました。

自治会田原支部、各種団体、六つの活動部会との交流及び連携により、心の垣根を取り去り、心をつなげて田原の課題を田原の力で解決することにご尽力いただきました。また、地域のつながりを育み、**共助の地域を創るためにいろいろなイベントが開催**されましたが、これには注目すべき点が出てきています。災害時には、血の通った地域社会があるか否かが、生死を分かちつていく要因となるからです。長年続いてきた田原ふれあいセンターを中心としたイベントの開催は、田原地域の人の命を救う力も秘めているかもしれません。

多くの人に関わる活動を実現するには多少時間がかかりますが、「必ず実現する。」という強い意志と想いがあれば多くの協力者が現れ、道は開かれると思います。私たちが住み続ける田原の未来へ向けて本当に大切なことを実現できるよう地域の皆さんと共に全力を尽くしていきたいと思っています。

地域の共助を創るためのイベント

教育・交流部会による 「チャレンジ！！七夕祭り」

田原にもありました！
子どもが参画するイベント

「地域の人材は、地域で育成する」というコンセプトで始まった。主催者は、中学生のボランティアで、主体性をもって企画から運営まで全てを担い、小学生や保育園児をおもてなしする伝統行事になっている。今年は、**40名を超える生徒がボランティアとして参加**。

準備

生徒ボランティアによる実行委員会を3回開催

企画・立案、体験講座の試作・当日の進行練習

今年度の5講座が決定！「牛乳パックで作るおもちゃ」

「ミサンガ作り」「夏のアクセサリ作り」

「紙粘土で作るマグネット」「フラッペ作り」

大人は、見守り役に徹しました！

会場設置



【カラフルに飾り付け、楽しい雰囲気を作りました】

受付



【「こんにちは。」笑顔で優しく話しかけました】

講座の進行



【「上手にできてるね。」温かい言葉をかけるよう心掛けました】

参加者総勢
150名！

当日 8月6日(日)

苦労したこともあったけれど、小さい子に優しく教えることができたし、喜んで帰ってもらえたのがうれしかった。

関市立桜ヶ丘中学校 森 茂夫 校長先生の想い

近頃、教育の結果を急ぐ傾向が強くなってきました。結果を急げば、「はい、あなたはこれをやって」「君は、この紙に書いたとおりやって」となり、「自分で考えて行動する力」や「自分のアイデアを形にする力」は育ちません。子どもと対話し、自分で決めさせ、やりきらせ、自信をもたせる。私たちは、この行事から教育の基本を教えられています。



締めくくりは、恒例の風船飛ばしです。空高く舞い上がる150個の風船に歓声が！晴天に恵まれ、参加者、主催者共に楽しいひと時を過ごすことができました。今後もこの中から生徒ボランティアとして参加し、田原の将来を担う人材が育っていくことでしょう。

関市立田原小学校

長屋 メイ子校長先生の想い

田原小の先輩である桜ヶ丘中の生徒の皆さんは、田原小の児童にとっても優しく接してくれました。そんな姿に憧れをもち、いつかは、ボランティアとして、地域行事の手伝いに参加できるとうれしいです。

また、「チャレンジ！！七夕祭り」をはじめ、地域行事の一コマが、ふるさとの思い出として子どもたちの心にずっと残ること、大空に飛ばした風船に込めた、それぞれの願いや夢がかなうことを願っています。